

中津 ↔ 日田道路

NAKATSU TO HITA HIGHWAY INTERNET SYMPOSIUM



シンポジウム WEB版

『地域高規格道路 中津日田道路』への
熱い想いをWEBで公開!!

【公開期間】

2020年 2021年
9/30(水) ~ 2/28(日)

特設ホームページアドレス

<https://www.nakatsuhitaroad-symposium.com/>

※2021年3月1日からは大分県中津土木事務所ホームページから
ご覧ください。



田口ICから未開通の日田方面を望む

中津日田道路は、中津港～田口IC、本耶馬溪IC～耶馬溪山移ICの区間が開通しており、三光本耶馬溪道路、耶馬溪道路、日田山国道路について事業中です。

[シンポジウム内容]

・主催者挨拶 期成会会長:中津市長 奥塚 正典
期成会副会長:日田市長 原田 啓介

・知事挨拶 大分県知事 広瀬 勝貞

・事業説明 現在の工事の進捗状況や、普段見ることができない難工事の様子、今後の事業展開まで“中津日田道路の今”をお届けします

・意見表明 ~中津日田道路が全線開通することへの期待と北部九州における効果~



ダイハツ九州(株)
代表取締役社長
泉谷 卓司 氏

ダイハツ九州の生産や物流の状況とともに、生産・輸送における国道212号の重要性や中津日田道路の整備への期待について発表。



由布市まちづくり観光局
代表理事
桑野 和泉 氏

高速道路先進地としての由布院の歩みと他地域との連携や、インフラ整備と同時にビジョンを持って地域づくりを行う必要性など、魅力的な地域づくりのヒントを発表。



デザイン事務所『星庭』
アートディレクター・グラフィックデザイナー
福田 まや 氏

耶馬溪への移住前後の話や、職住一体型のありのままの暮らし、道路がもたらす新たな可能性を耶馬溪の未来とともに発表。



九州経済調査協会
大谷 友男 氏

中津日田道路への期待を「北部九州のネットワーク」、「産業インフラ」、「人の移動を生み出す」、「自然災害への対応」の4つの視点から発表。



九州産業大学
地域共創学部 観光学科教授
田代 雅彦 氏

日田市の観光を中心に、鉄道網と道路網の説明や、中津日田道路が開通することで“拠点型観光”において日田が好適地になることなどを発表。



日本文理大学
学長室長・工学部建築学科教授
吉村 充功 氏

様々な価値から広域交通ネットワークを整備する意義について説明頂き、整備後を見据えた具体的な地域づくりの議論の必要性などを発表。



大分工業高等専門学校
名誉教授
亀野 辰三 氏

高速道路は後世への最高の贈り物!としてドイツのアウトバーンの事例を用いながら、道路による地域の一体化などを発表。



立命館アジア太平洋大学
学長
出口 治明 氏

人間の文明が交易により豊かになってきたという歴史や、地域の動脈・静脈である道路網が果たす役割について発表。



㈱スノーピーク
地方創生コンサルティング
若松 隆一 氏

自然と街の両面を持つ九州へのその様な場所である日田の魅力や、コロナ禍で熱いアウトドアの魅力を発表。

・公開討論会

中津日田地域の将来を思う若者の会

中津と日田の商工会青年部や青年会議所等から若者が集い、開通後を見据え、熱くビジョンをぶつけ合う場



・開通を期待する212人の声

中津日田道路の国道番号になんで212人の期待の声をお届け
~地域の子供達の元気な姿から踊りまで多彩に表現~